

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	千葉剛成
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4758 旧上高井郡役所管理事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011800 生涯学習の機会充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費					
	事業	010000 旧上高井郡役所管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
歴史的建造物として保存しながら、多くの市民の方に親しまれる施設となるよう、施設環境整備を図っていく。				歴史的建造物である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、古文書や古い映画ポスターの公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。

指標名	旧上高井郡役所設使用人数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	
	実績	15,821	15,952	18,886	17,368		
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成28年度15,821人、平成29年度15,952人						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		8,573	9,459
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,149	900
一般財源		7,424	8,559
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	2,829.0	2,829.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,829.0	2,829.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,402.0	12,288.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,792	光熱水費938、修繕費454 等
13節 委託費	3,868	宿日直業務委託3,784 等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,913	嘱託職員報酬2,247 等

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,940	光熱水費1,049、修繕費500 等
12節 委託費	4,437	宿日直業務委託4,337 他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,082	会計年度任用職員報酬1,978 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の交流施設として利用しながら、歴史的建造物としての適切な維持管理と活用を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	社会教育団体をはじめ多くの市民団体等に活用されている。須坂市文書館、映画関係資料の常設展示場としても利用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	日直業務、除草等業務をシルバー人材センターに委託し、効率化向上に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

歴史的建造物としての価値が利用者に認められ、多様な利用がみられる。令和2年3月6日付で、市指定有形文化財に指定され、引き続き適切な保存と活用に努めたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
文書館と調整を図りながら、気軽にご利用いただける施設運営に努める。		文書館としての施設の利用も進んでおり、合理的な施設管理を検討する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	